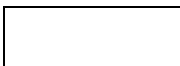




学校名	那智勝浦町立下里小学校
タイトル	
コメント	<p>2018年9月、下里小学校の1・2年生は、生活科における生き物とのふれあいを目的として串本海中公園を見学しました。生後1年のアオウミガメの子どもを自分の手で持ち、パタパタと元気に足を動かす子ガメに生命の躍動を実感しました。また、親ガメにエサやりをしたり、エビの抜け殻や様々な種類のヒトデを触ったり、色鮮やかな魚を一生懸命スケッチしたりと、海洋生物について多くのことを学びました。</p>



学校名	那智勝浦町立下里小学校
タイトル	生き物の身体をつくりを知ろう
コメント	2018年7月、下里小学校の3、4年生は、理科の学習と関連づけて「太地町くじらの博物館」を見学しました。研修室で学芸員から講義を受けた後、展示物やふれあいプールでの「餌あげ体験」、ウェーダーを着用しての「イルカにタッチ！」などの体験を通してクジラ・イルカの生態や身体づくりについて学習しました。実体験の効果は大きく、子どもたちはいきいきと事後学習にも取り組みました。



学校名	那智勝浦町立下里小学校
タイトル	自由自在に、海の中を覗いてみよう！
コメント	<p>2018年7月、下里小学校の5、6年生は、総合的な学習と結びつけて紀伊半島南端の串本町で「シュノーケリング体験学習」を行いました。マリンスポーツとしてのシュノーケリングについて触れ親しむと同時に、黒潮の影響を受ける独自の生態系をより能動的に観察することで、子どもたちの海についての関心や知識を高めることができました。特に2回目の体験となる6年生は、機器の取り扱いにも慣れ大きな成果を上げることができました。</p>

